

2021年3月9日  
株式会社マクネット

## xEVに関するユーザー意識調査を実施

「脱ガソリン車」「大雪での高速道路立ち往生」といったニュースが次回の自動車買い替えに影響するのは3割にとどまる

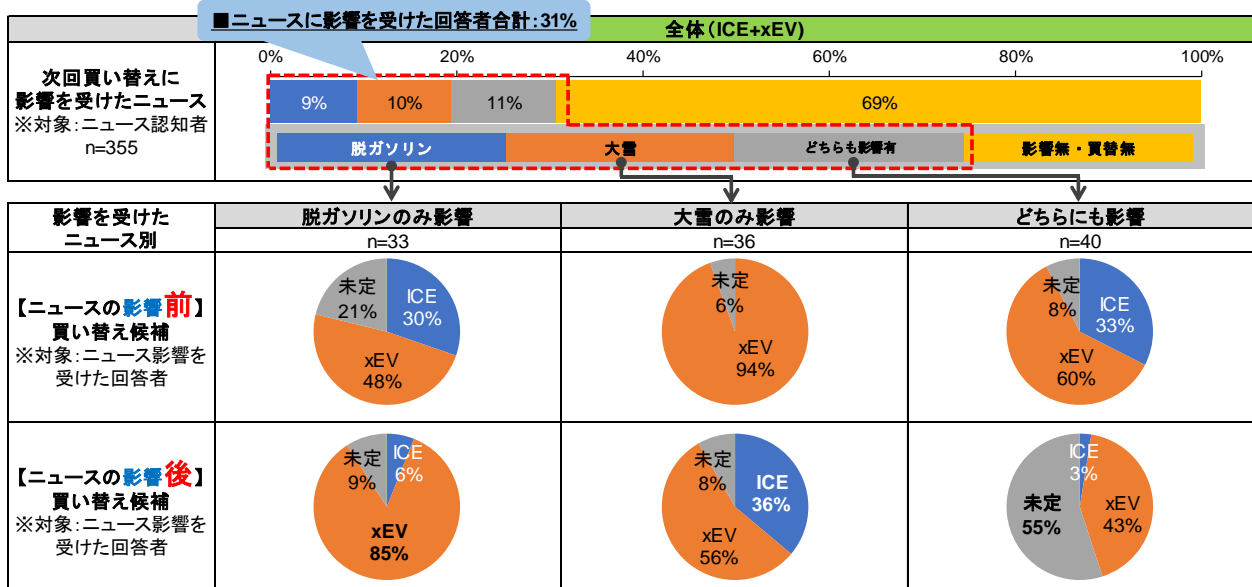
影響のあった3割では、「脱ガソリン」のニュースでICE買い替え意向が30%→6%に減少  
「大雪関連」のニュースでICEの買い替え意向が0%→36%に増加

株式会社マクネット(本社:東京都千代田区、代表取締役中村与志也)は、次世代車として注目される電気自動車(BEV)をはじめとする「xEV(HV、PHV、BEV)」に関する意識調査を実施しました。

調査は3車種(HV、PHV、BEV)のxEV保有者それぞれ100名と、ICE保有者100名、合計400名に対しアンケートを実施した結果を分析・検証したものです。調査・分析期間は20年12月~21年2月。

それぞれの車種を保有しているユーザーによるメリット・デメリットをはじめとする意識調査に加え、脱ガソリン車に関連するニュースや大雪による高速道路での立ち往生のニュースなど、自動車に関わるニュースが次回の自動車買い替えにどう影響するかを調査・分析しました。

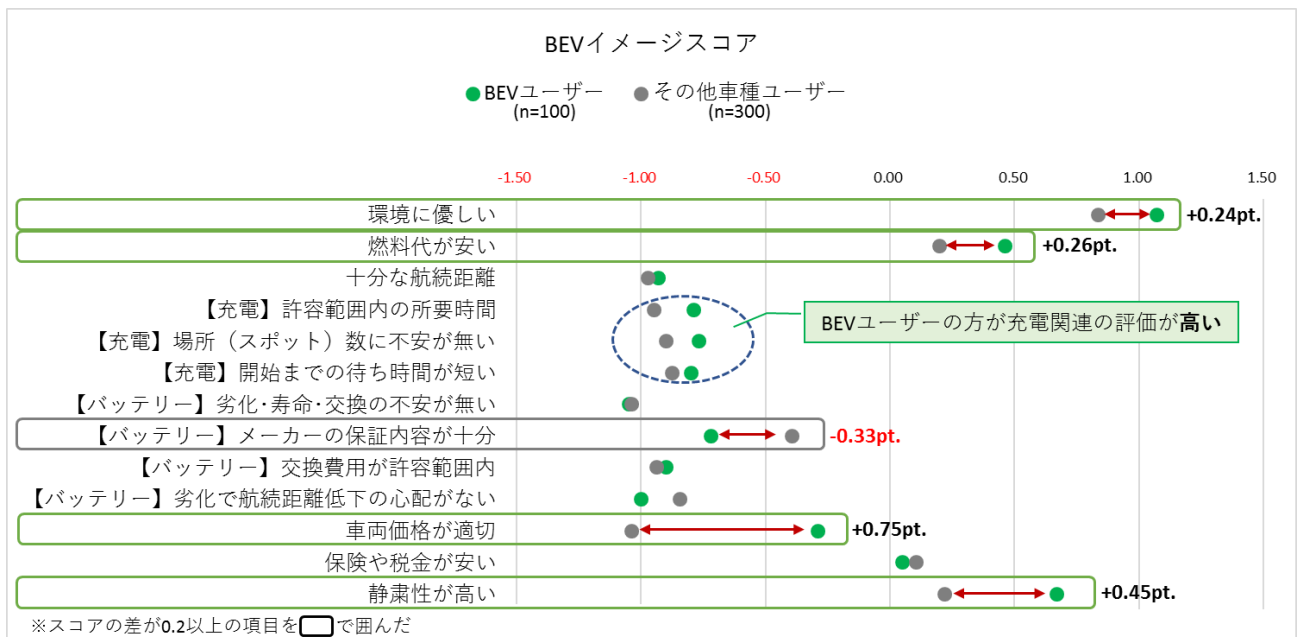
### 自動車関連ニュースの影響



2020年12月に東京都の小池都知事が従来よりも早い2030年までに「脱ガソリン車」とする方針を表明し、国内のxEV化が加速する機運が高まりつつある。また同月、関越自動車道で大雪による立ち往生が発生し、電力のみを動力源とするBEVにとって不利な状況を目の当たりにすることとなった。

これらのニュースが次回買い替える車種に影響するか、アンケートを行った結果、ニュースを認知しているユーザーの内「影響を受けた」と回答したのは3割にとどまったが、「脱ガソリン」のみ影響を受けたユーザーの中ではICEへの買い替えが30%から6%に、「大雪」のみ影響を受けたユーザーの中ではICEへの買い替えが0%から36%にそれぞれ変動した。また、いずれのニュースにも影響されたユーザーの中では「未定」が8%から55%に増加しており、各ニュースが買い替えを悩ませる結果となった。

## BEV ユーザーとその他車種ユーザーとのイメージのギャップ



BEV ユーザーとその他車種(ICE、HV、PHV)ユーザーにそれぞれ「BEV のイメージ」を質問した結果が上図である。

「環境に優しい」「燃料代が安い」「静粛性が高い」といった BEV の強みとしてよく知られている項目は、実際に利用している BEV ユーザーの方がその他車種ユーザーよりも高いスコアとなっている。また、BEV の課題である「充電」に関する項目についても、マイナス評価ではあるものの BEV ユーザーの方がやや高いスコアとなった。

当調査レポートでは、上述の項目以外にも各車種ユーザーによるメリット・デメリット、xEV の充電環境に関する項目、各車種を購入したい理由・したくない理由など、アンケートを実施し、分析を行っている。

### 調査方法と有効票数概要

アンケート対象: 自動車保有者(ICE、HV、PHV、BEV) | 調査方法: Web アンケート  
 有効回答数: 400(各車種の保有者 100 名ずつ) | 調査・分析期間: 2020 年 12 月～2021 年 2 月  
 調査主体: 株式会社マクネット

### 本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクネット  
 〒101-0023 東京都千代田区神田松永町 10 番地  
 X-Tech Business Unit 遠藤、牛込、志賀 電話: 03-5294-4410 メール: [info@i-mct.jp](mailto:info@i-mct.jp)

#### 引用・転載時のお願い

報道関係者様: 本リリースの引用・転載時には、必ず弊社クレジットの明記をお願い申し上げます。  
 報道関係以外の方: 本リリースの引用・転載時には、必ず弊社承諾を得ることをお願い申し上げます。